

# 講師プロフィール

令和4年度 全国福祉教育推進委員会

(登壇順・敬称略)

はらだ まさき  
原田 正樹

日本福祉大学 教授 /  
日本福祉教育・ボランティア学習学会会長

全社協 全国ボランティア・市民活動振興センターで、長年にわたり福祉教育に関する研究会等に関わってきた。「広がれボランティアの輪」全国連絡会副会長、『月刊福祉』編集委員などを務める。『共に生きること 共に学びあうこと』大学図書出版ほか。  
地域共生社会を実現していくためには、制度やサービスだけではなく、福祉教育が欠かせない取り組みだと確信している。

ふくざわ しんすけ  
福澤 信輔

長野県社会福祉協議会  
まちづくりボランティアセンター 主査

2009年長野県社会福祉協議会へ入職。ボランティア担当、福祉人材研修担当、県出向を経て県社協の「出島」でもあるまちづくりボランティアセンターに現在所属。  
市町村社協の皆さん、地域でボランティアをしている皆さんから日々学ぶ毎日。福祉分野のみならず、まちづくり・地域づくりに関する県内の多様な実践を、ボラセンや福祉教育の取り組みに昇華することが最近の密かな楽しみ。趣味はキャンプと6歳の娘とプリキユアごっこをすること。

やすこうち たつし  
安河内 達

福岡県 社会福祉法人三活会 理事長

1997年に社会福祉法人三活会に入職。介護職、生活相談員、施設長等を経験し、2020年より現職。業務以外でも地域活動に参画するとともに、2010年からは福祉・介護に関する団体の役職を務め、現在は、全国社会福祉法人経営青年会副会長等の役を務める。法人は、高齢・障がい・保育等多種別事業を展開し、福岡県全体で取り組んでいる「ふくおかライフレスキュー事業」の他、地域における公益的な取組を実践している。

なかしま おさむ  
中島 修

文京学院大学人間学部人間福祉学科長 教授

全社協福祉教育推進委員会委員。日本地域福祉学会理事・事務局次長、日本福祉教育・ボランティア学習学会特任理事。元厚生労働省地域福祉専門官。全社協地域における公益的な取組に関する委員会委員長。埼玉県市町村総合相談支援体制構築部会座長、東京都ひきこもりに係る支援協議会副会長、東京都自立相談支援機関研修等検討委員会委員、東社協生活支援コーディネーター研修検討委員会委員、全国経営協社会福祉法人連携推進委員会委員。所沢市、鴨川市、目黒区、練馬区、豊島区、藤里町、ふじみ野市など現場実践に関わる。社会福祉士。

むらた としあき  
村田 敏明

名古屋市 中村区社会福祉協議会 事務局次長

2014年～2019年に名古屋市社会福祉協議会で福祉教育、ボランティアを担当し、「福祉教育・ボランティア学習のつどいin あいち・なごや」に携わる。2020年に全国社会福祉協議会地域福祉部に外向し、福祉教育を担当。2021年から現職になり重層的支援体制整備事業や福祉教育に携わっている

さかもと こういち  
坂本 晃一

東京都 墨田区立菊川小学校 主任教諭

・埼玉県社協に8年勤務（ボランティアセンター・福祉教育担当等）後、都内の公立小学校教員に転職し教員生活20年を迎える。学級担任を長年務め、人権尊重教育（同和教育）を実践し研究を積み重ねてきた。現在は特別支援教室・巡回指導教員として発達障害児のエンパワーメントのための個別指導を行っている。  
・埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク（あったかウェルねっと）世話人、社会福祉士

## まきの 牧野 いくこ 郁子

埼玉県 鶴ヶ島市社会福祉協議会

大学卒業後、高校教員やファミレス企画部等を経て、1996年鶴ヶ島市社会福祉協議会入職。庶務や経理を担当後、2000年からボランティアコーディネーター、その後、地域福祉担当として、ふれあい・いきいきサロン、小地域組織化事業（地域支え合い協議会設立）、生活支援活動、障害者支援ネットワーク組織構築、見守り等を担当した。今年度からは、地域福祉担当及び権利擁護支援センター兼務チームリーダー。さらに、埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員のネットワーク「あったかうエルねっと」の会員として活動、さらにその活動の延長で「若者への福祉教育研究会」を2017年8月に立ち上げ、福祉教育に思いのある大学の先生方、当事者、ボランティアの皆さんと地域共生社会を目指す福祉教育・ボランティア学習推進に取り組んでいる。

## かじの 梶野 みつのお 光信

東京都教育庁 地域教育支援部 主任社会教育主事

東京都教育庁地域教育支援部主任社会教育主事。東京都の社会教育施策の企画立案を担当。現在取り組んでいる主な仕事は、①不登校生徒への対応や中途退学の未然防止のために都独自の制度である「ユースソーシャルワーカー」を都立高校等に派遣する事業（都立学校「自立支援チーム」派遣事業）と②地域と学校の連携・協働に関する取組である。「地域」をベースに福祉と教育が融合するコミュニティをつくりたいと考えている。

## ちば たつき 千葉 樹

厚生労働省 社会・援護局  
地域福祉課 地域共生社会推進室  
支援調整係長（併）自治体支援係長

2012年4月厚生労働省入省。生活保護の監査業務、局内予算とりまとめ業務に携わった後、自治体（市）に2年間出向し、市役所の現場で困窮者支援を担当。厚生労働省に戻ってからは数年間生活保護の運用に携わり、2022年4月から現職。地域共生社会の推進に向け、施行2年目を迎えた重層的支援体制整備事業を担当している。

## みやもと ともこ 宮本 朋子

和歌山県 有田市社会福祉協議会 上席主任

2000年に有田市社会福祉協議会入職。社会福祉士。2018年度まで日常生活自立支援事業専門員として従事。2013年度から福祉教育にも携わりながら、現在は地域福祉担当として学校を拠点とした福祉教育実践や、ネットワーク化・当事者支援等に取り組んでいる。地元住民としても地域づくりに参画し、和歌山県内の社協職員による自主勉強会立上げや関コミ（関西社協コミュニティワーカー協会）にも所属、あらゆる角度につながりを広げ楽しむ日々。

## あべ よしただ 阿部 圭但

文部科学省 総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課  
障害者学習支援第一係長

13年間にわたり、4校の特別支援学校で教諭として勤務した。その間、特別支援学校小学部・中学部知的障害者用教科書等の編集委員も務める。高等部での勤務実績が多く、就労への接続や、学校卒業後も学び続ける意欲とそれを支える社会側の環境整備への課題意識をもつ。前職で勤務した秋田大学教育文化学部附属特別支援学校では、研究主任として「児童生徒の生涯学習力を高める教育課程の編成」のテーマで校内の研究を推進した。2021年4月より現職。

